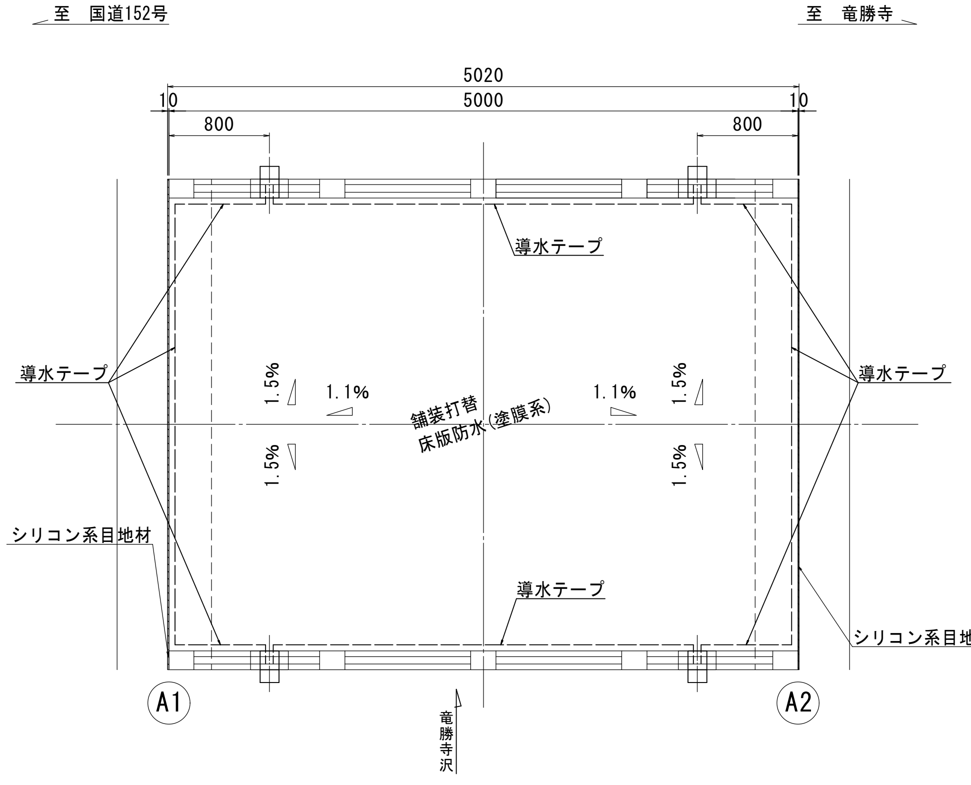
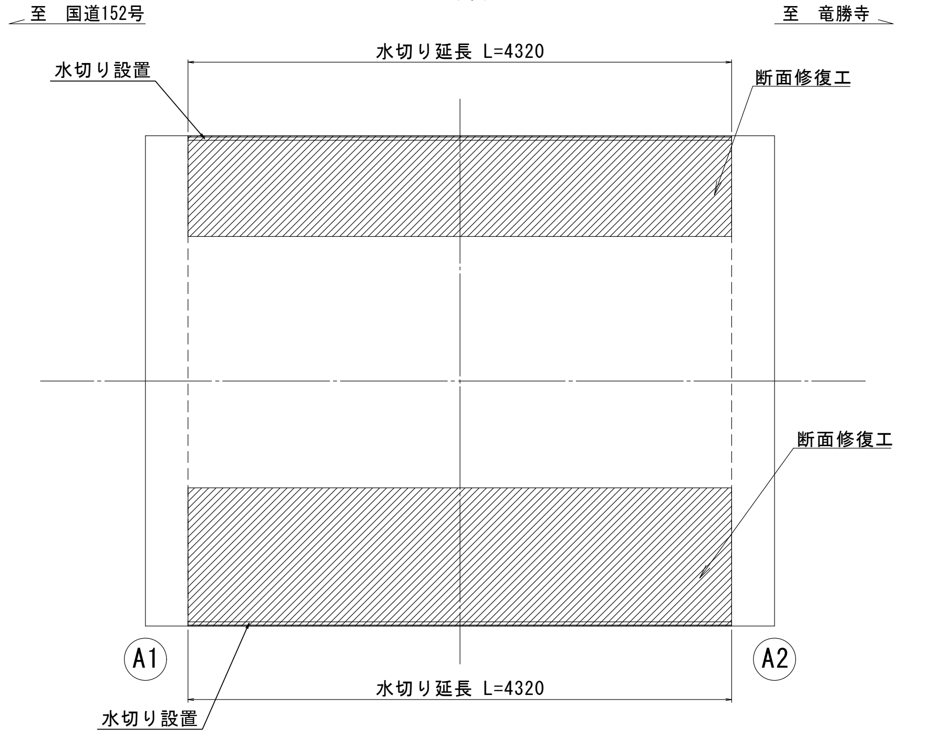
竜勝寺1号橋 補修概要一般図

平面図 S=1:30

橋面

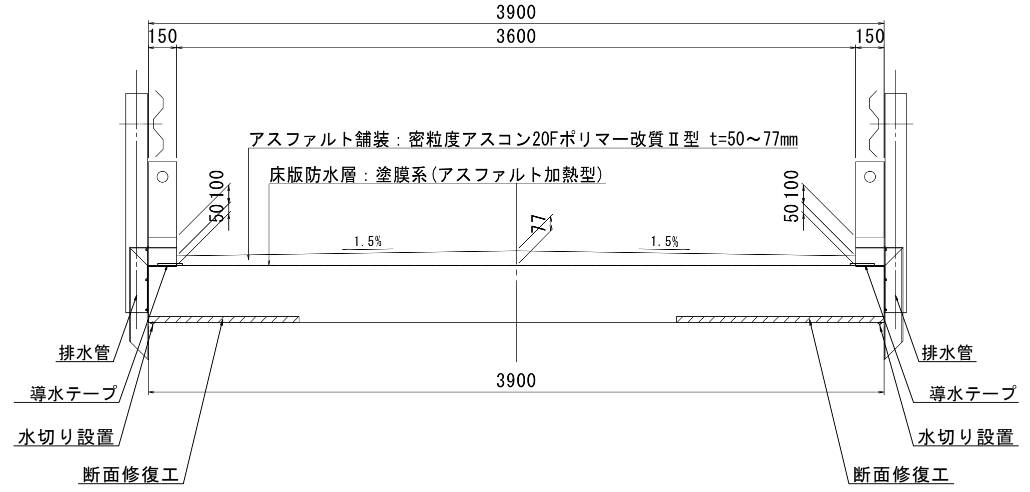


下面



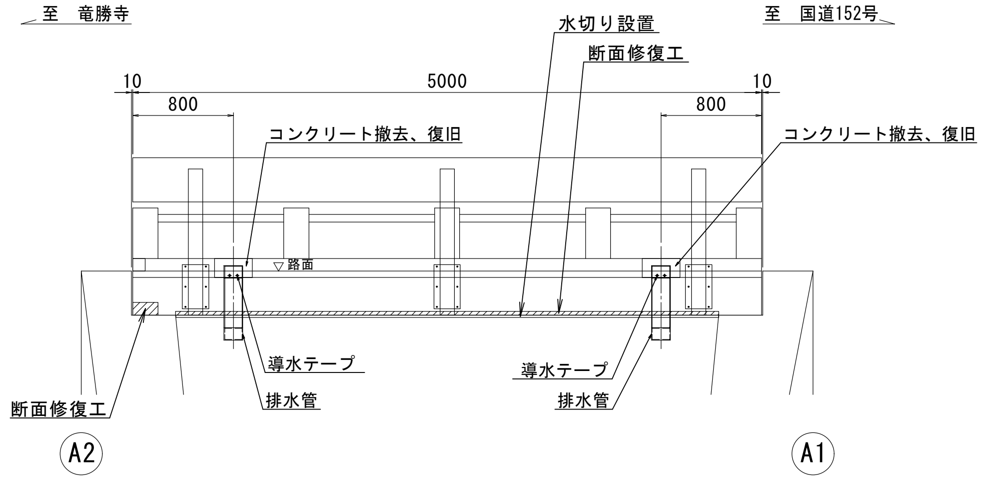
断面図 S=1:20

(A1側から見る)



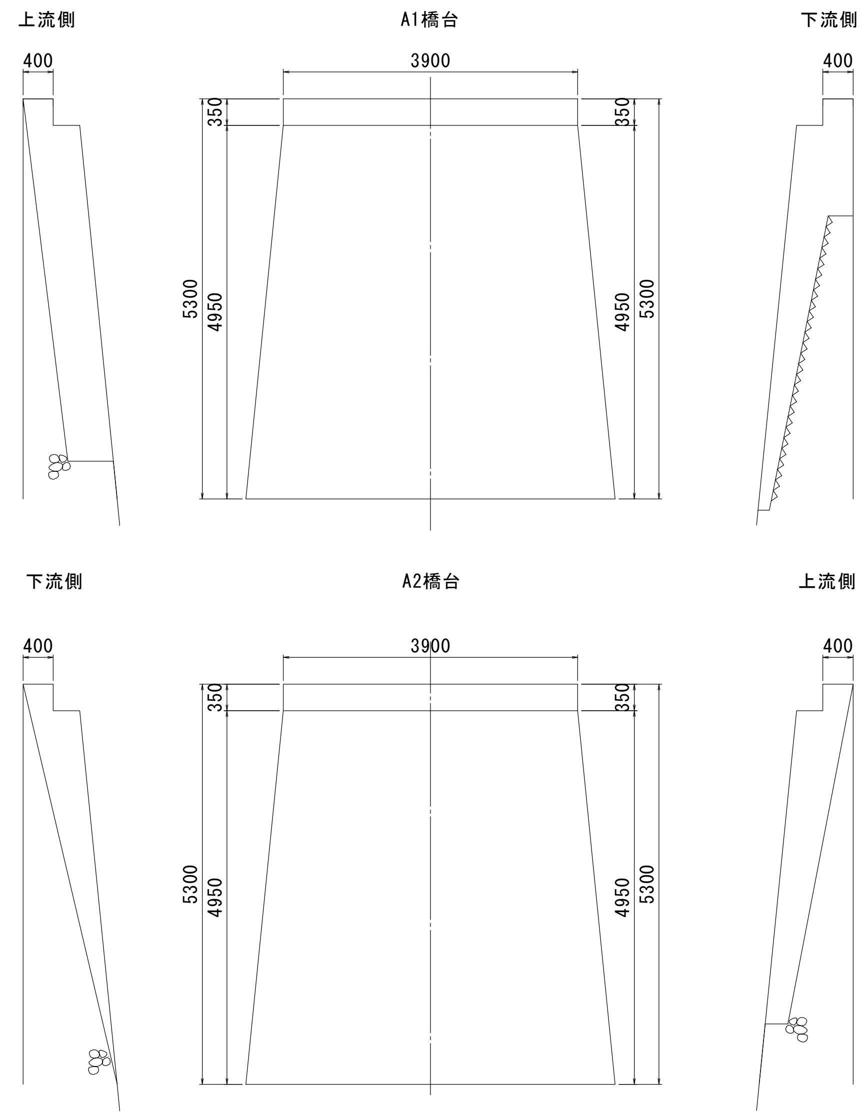
側面図 S=1:30

下流側



(日)

正面図 S=1:50



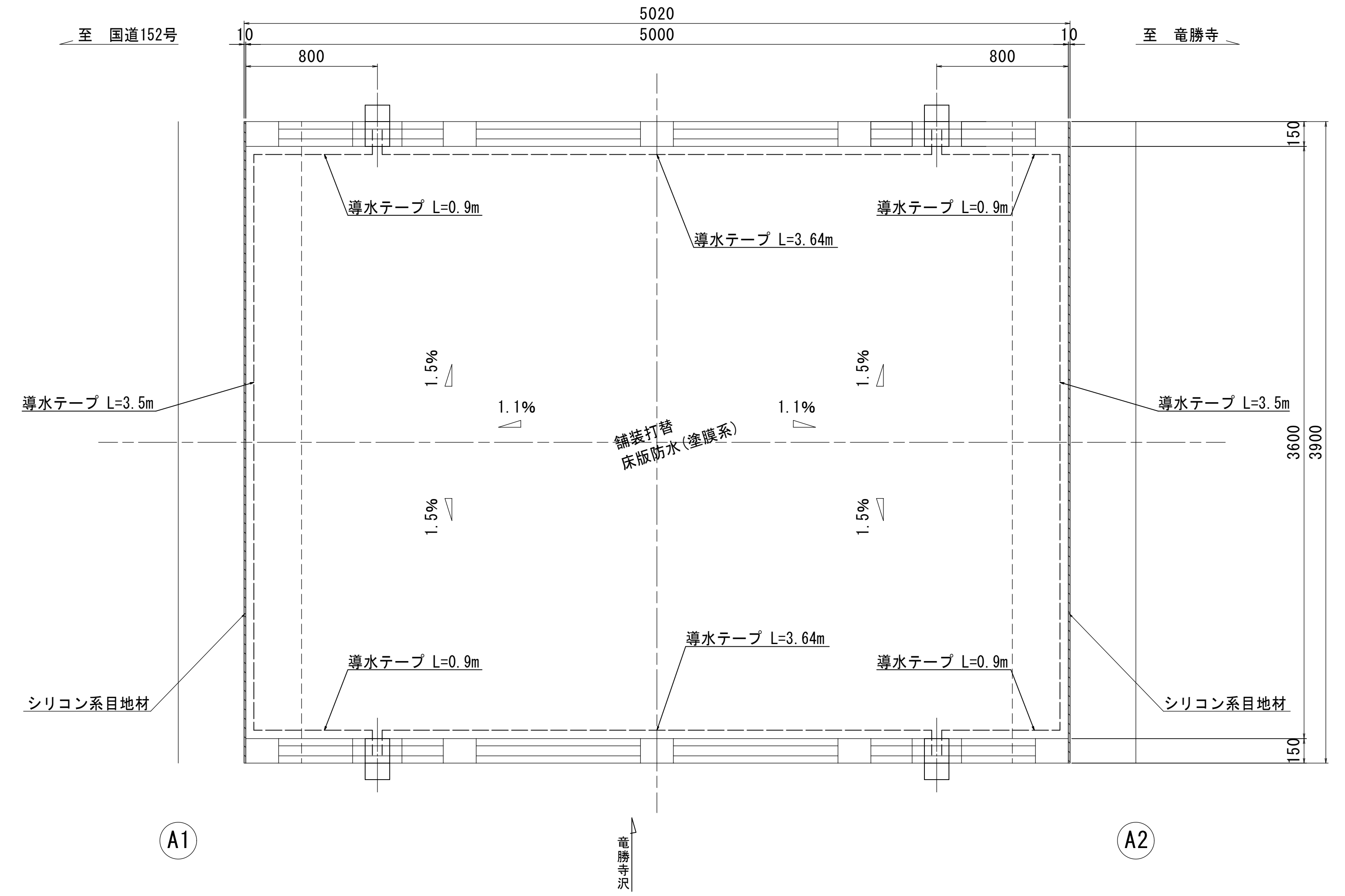
設計条件	
橋種	ＲＣ床版橋
架設	昭和57年11月
橋格	昭和53年道路橋示方書
橋長	5.020m
桁長	5.000m
支間長	4.650m
幅員構成	0.15+3.60+0.15=3.90 m
勾配	横断勾配：0%(Level)→1.5%
	縦断勾配：0%(Level)→1.1%
設計荷重	不明
	なし
地震係数	水平震度 kh=0.18（推定）
斜角	θ=90°

注記）
1. 施工寸法は、現地実測の上決定のこと。
2. 橋面作業完了後に下面補修をすることが望ましい。（施工時の降雨時に路面排水が下面に流下するため。）
3. 通行規制は、橋面補修時に必要である。
4. 床版コンクリートの土砂化が確認された際は現場の判断で補修を行うこと。
5. 橋面補修時は現況と擦り付けを行うこと。
6. 施工は非出水期に行うことが望ましい。

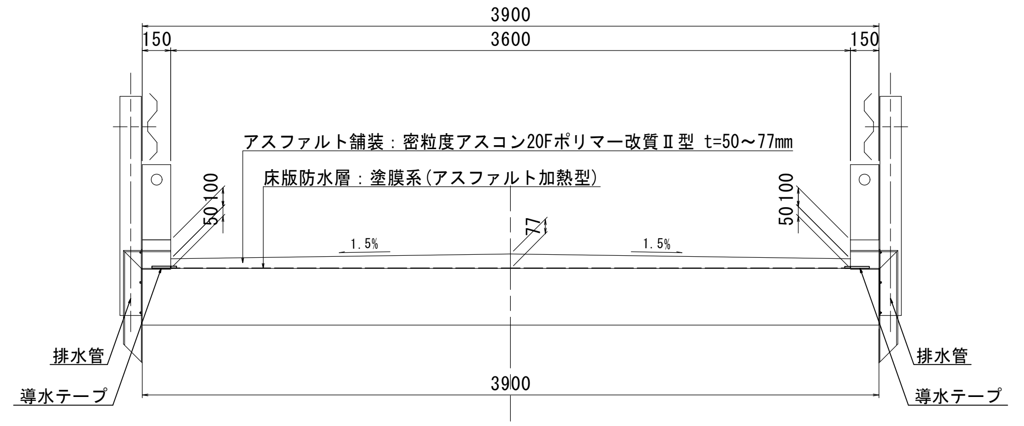
令和５年度 橋梁長寿命化事業 竜勝寺１号橋補修工事			
番号	1/4	補修概要一般図	縮尺 図示
竜勝寺橋 / 伊那市高遠町勝間			
設計会社	株式会社エース		
測量会社			
調査会社			
長野県伊那市役所			

竜勝寺1号橋 橋面補修図

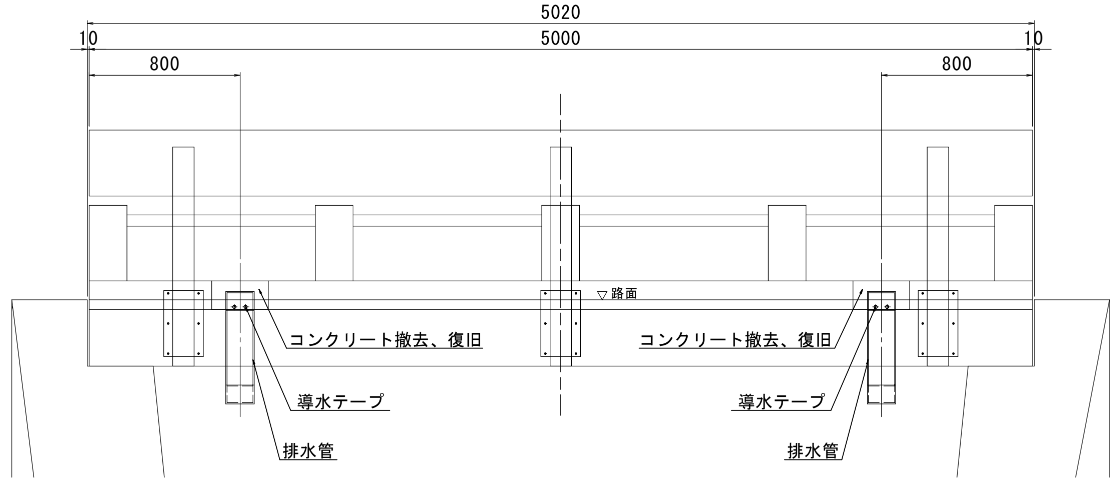
平面図 S=1/20



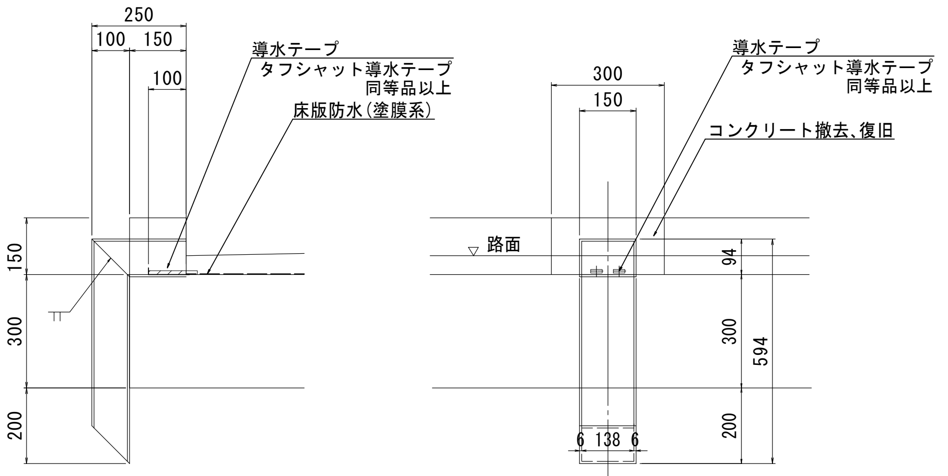
断面図 S=1:20



側面図 S=1/20



排水管設置補修図 S=1/10

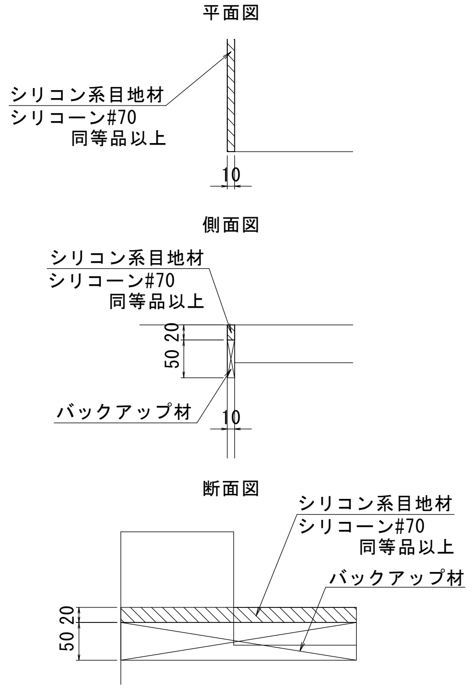


排水施設１箇所当たり

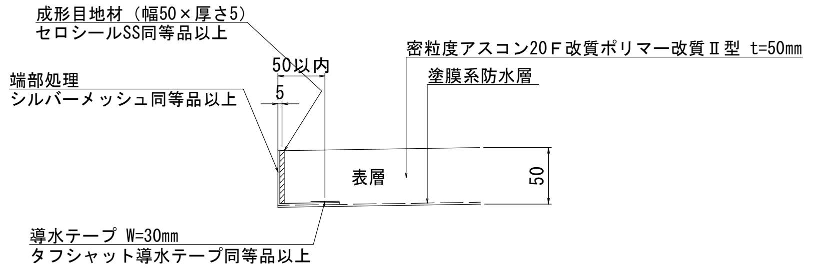
1-□ 150×100×6×250
1-□ 150×100×6×594

目地材詳細図 S=1/5

A1，A2上

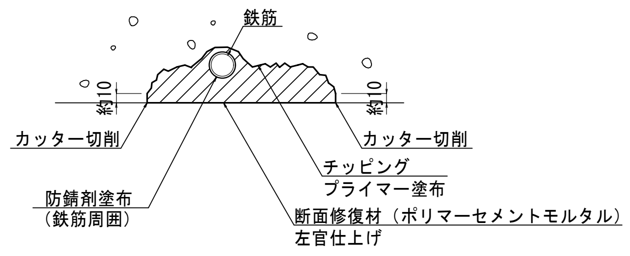


床版防水詳細図 S=1/4



断面修復詳細図 S=1/4

(左官工法)



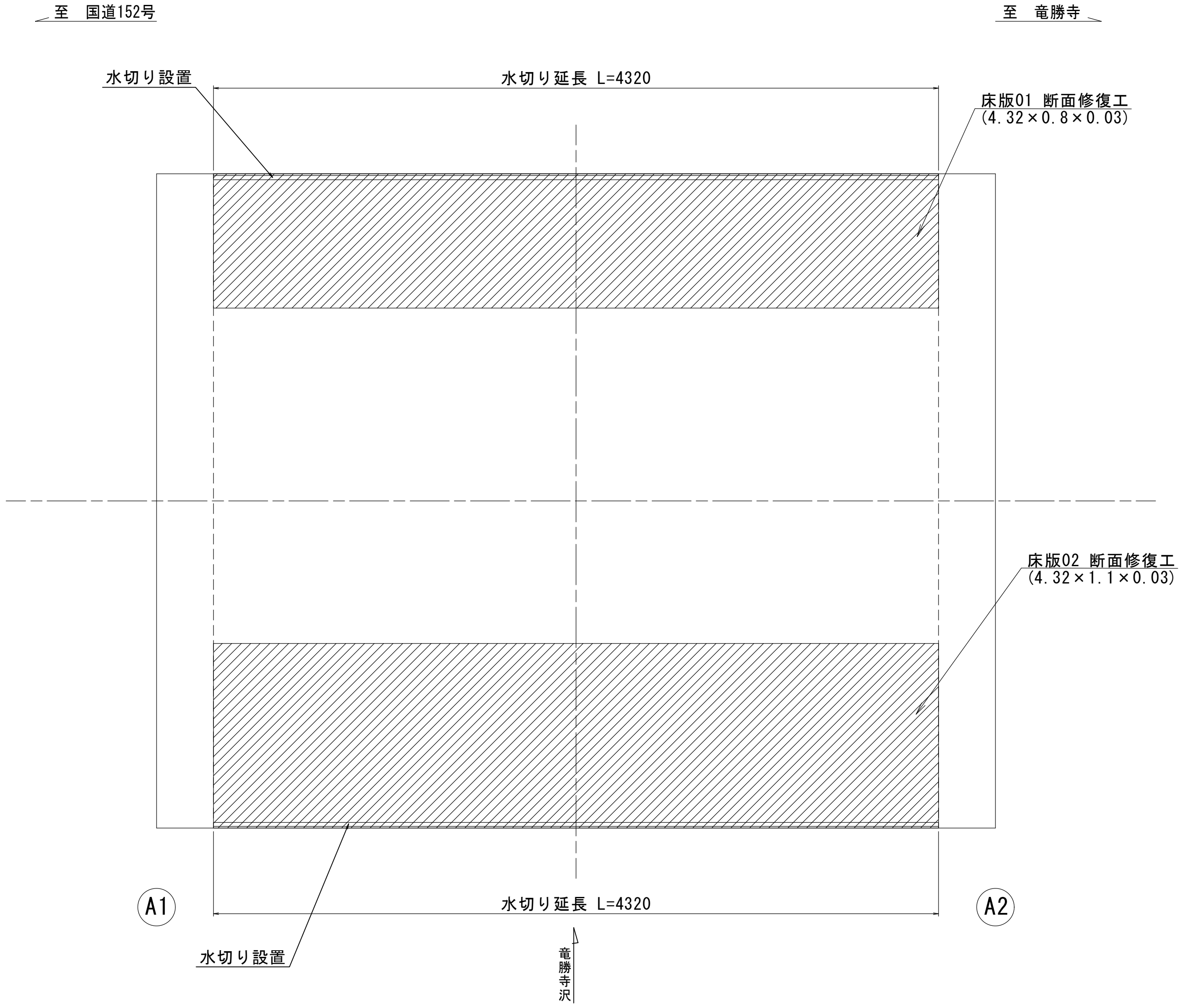
凡例	補修工法
(斜線)	断面修復工

注記）
1. 舗装切削後、旧コンクリート舗装上面にコンクリートの劣化、不陸が見られる場合は断面修復のうえ、床版防水を敷設のこと。
2. 施工寸法等は、現地実測の上決定のこと。
3. コンクリートの材質は、24-8-25BBとする。
4. 取付金具は全て溶融亜鉛メッキ(HDZ35)とする。
5. 地覆コンクリートをはつる際、排水桝を設置する際は既設鉄筋を破断しないよう鉄筋探査を行い、注意して施工のこと。

令和５年度 橋梁長寿命化事業 竜勝寺１号橋補修工事				
番号	2／4	橋面補修図	縮尺	図示
竜勝寺橋 伊那市高遠町勝間				
設計会社	株式会社エース			
測量会社				
調査会社				
長野県伊那市役所				

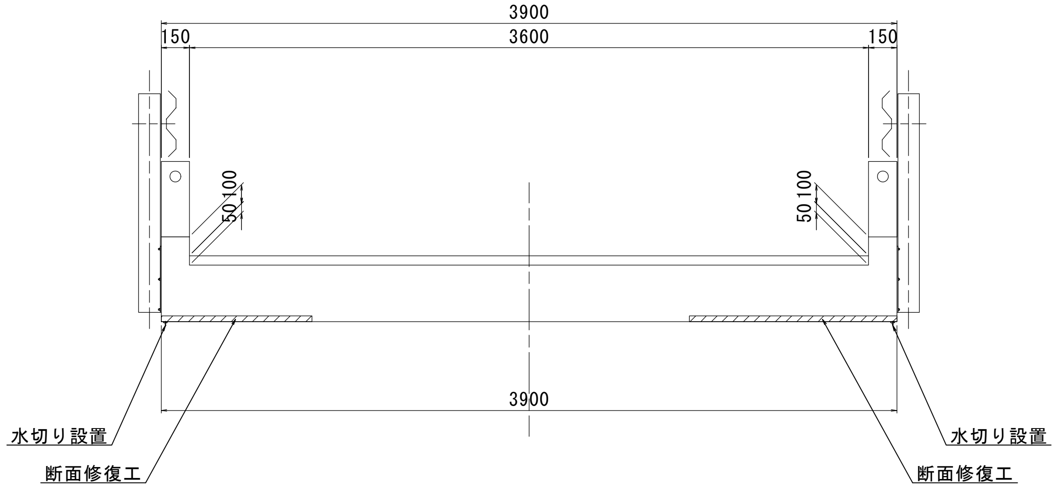
竜勝寺1号橋 下面補修図

平面図 S=1/20

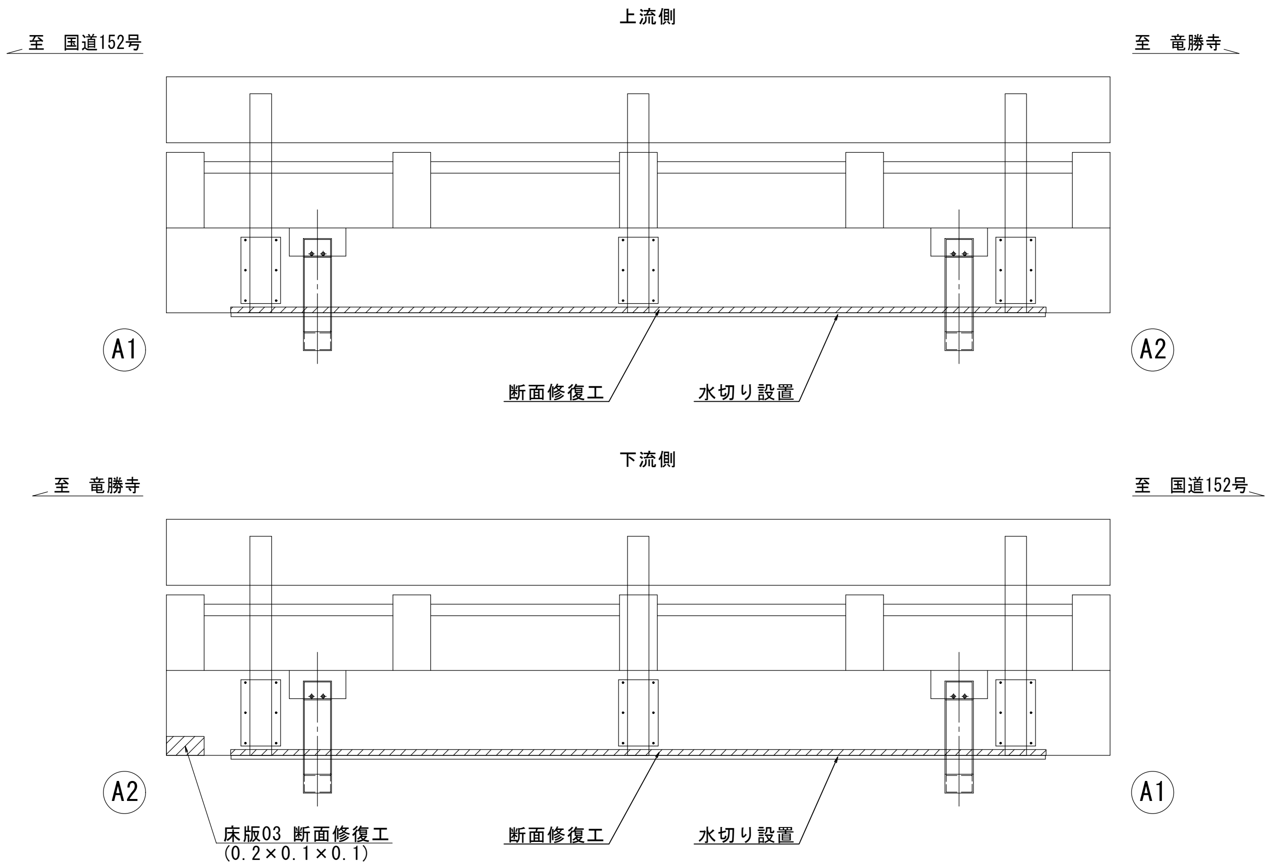


断面図 S=1:20

(A1側から見る)

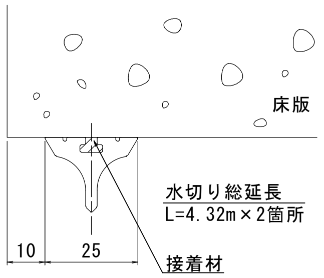


側面図 S=1/20



水切り取付図 S=1/1

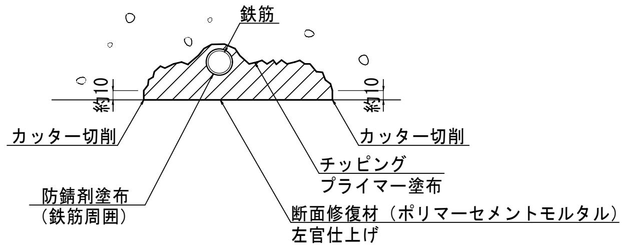
(ウォーターカッター NETIS登録番号 KK-180012-VR)



下地処理
↓
接着剤塗布
↓
水切り取付

断面修復詳細図 S=1/4

(左官工法)



材料表

名　称	寸　法	重　量	材　質
ウォーターカッター	W25mm×H20mm×L1000mm	80g/m	EPDMゴムスポンジ(ライトグレー)

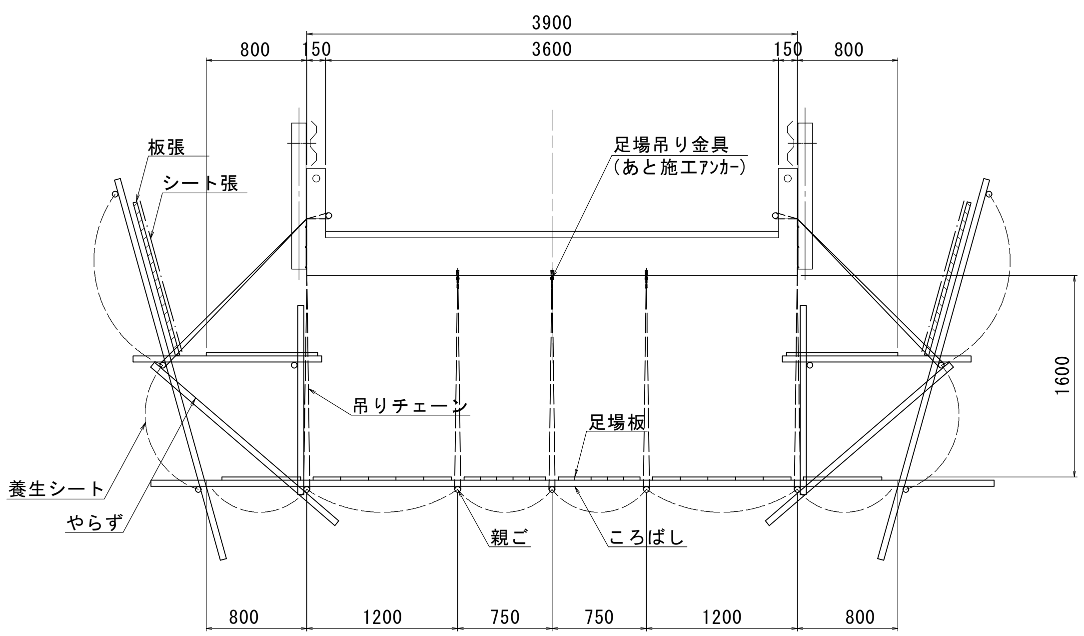
凡例	補修工法
(斜線)	断面修復工

注記)
1. 施工寸法は、現地実測の上決定のこと。
2. 断面修復は、浮き箇所のコンクリートは全てはつり取り、脆弱部のコンクリートはチッピングにより取り除くこと。
3. 水切りは、床版補修後施工し、下地処理は十分に行うこと。

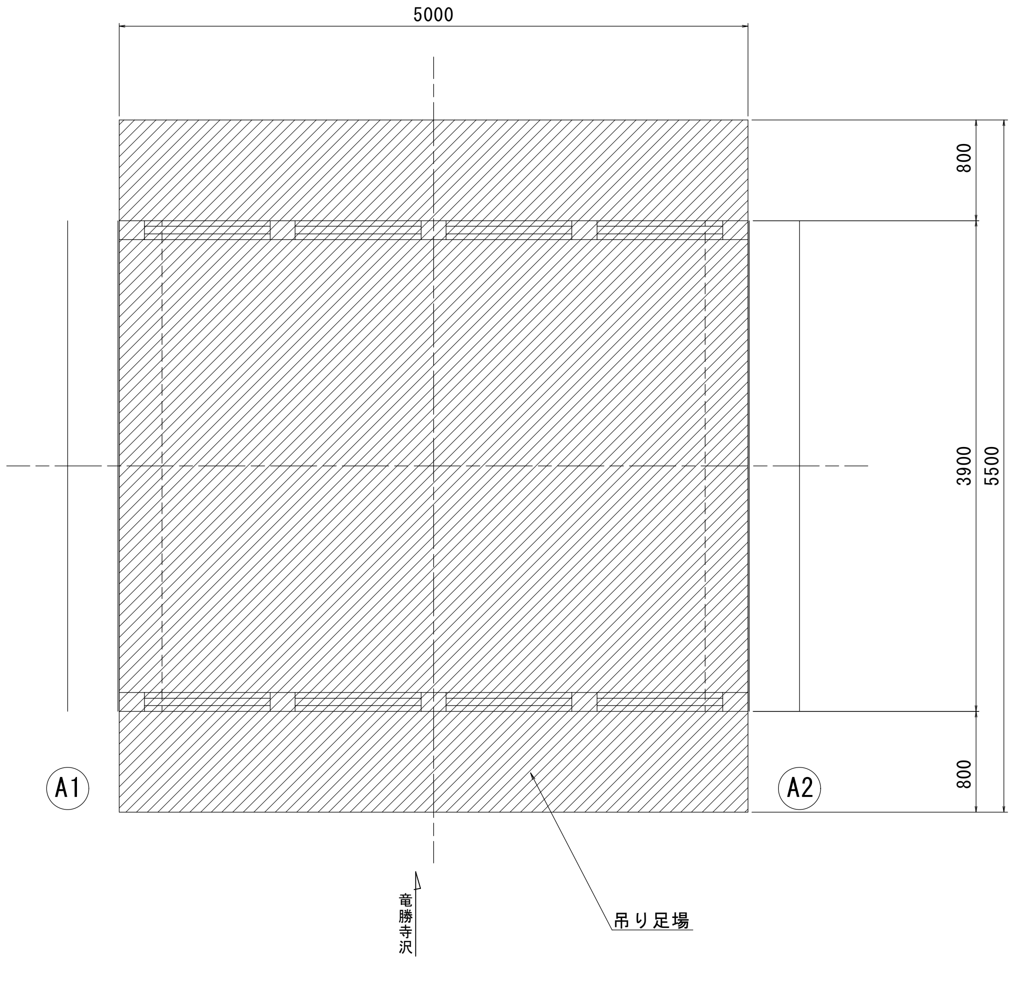
令和５年度 橋梁長寿命化事業 竜勝寺１号橋補修工事				
番号	3/4	下面補修図	縮尺	図示
竜勝寺橋 伊那市高遠町勝間				
設計会社	株式会社エース			
測量会社				
調査会社				
長 野 県 伊 那 市 役 所				

竜勝寺1号橋 仮設参考図

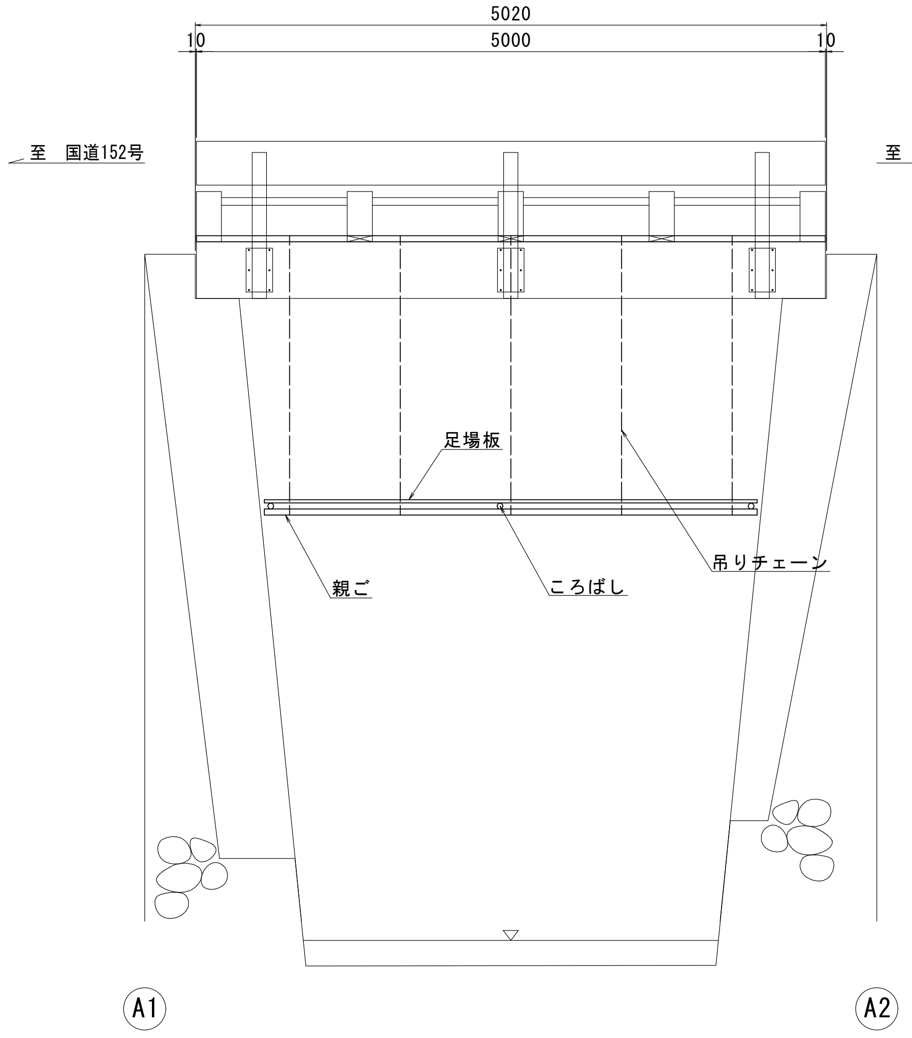
断面図 S=1/30



平面図 S=1/30



側面図 S=1/30



注記) 1．足場は現地状況に応じて調整のこと。
2．作業内容に応じて、足場配置を変更のこと。

令和５年度 橋梁長寿命化事業 竜勝寺１号橋補修工事				
番号	4/4	仮設参考図	縮尺	1/30
竜勝寺橋 伊那市高遠町勝間				
設計会社	株式会社エース			
測量会社				
調査会社				
長 野 県 伊 那 市 役 所				